

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（%）－悪い（少ない）等の構成比（%）を計算した値がDI 値となります。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

このレポートは次の基準で景況感を分類しました。（マイナスは△表示）

良い (15P以上)	やや良い (6P～14P)	変わらない (△5P～5P)	やや悪い (△6P～△14P)	悪い (△15P以下)
↑	↗	→	↘	↓

業種別 調査結果と事業者の声

*DI 値調査結果は裏面に記載

*【 】は今期のDI 値を記載

(1) 製造業 景況感 【△24P <悪い> ↓】 (前期比△22P)

前期と比べ、売上額【△27P】、収益【△41P】、雇用人員【△43P】、資金繰り【△19P】が、それぞれ22P、36P、15P、14Pの大幅な低下となりました。

次期は、収益で改善が見込まれるものの、ほかの項目については横這いの見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・半導体不足の状況が続いており、売上高は最初の緊急事態宣言と同じくらいまで大きく減少した。3月以降順次回復していくと見込んでいる。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大による物価上昇の影響により、原材料の調達コストが上昇していたところ、ウクライナ危機による影響でさらなるコスト増が見込まれており、厳しい状況が続いている。

(2) 建設業 景況感 【△17P <悪い> ↓】 (前期比△8P)

前期と比べ売上額【△26P】、収益【△32P】、雇用人員【△41P】が、それぞれ11P、5P、5Pとやや低下しました。

次期は、すべての項目で改善する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・資材の価格上昇により利益率も低下している状況。大手建設会社の下請で現場工事自体はあるが、採算性を吟味すると個人事業主を含めた中小零細企業は利益確保が非常に厳しい状況。
- ・昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により売上げは大幅に減少となった。現在も影響はあるものの、建設業界全体の業況は回復傾向にある。

(3) 卸・小売業 景況感 【 $\Delta 18P$ <悪い>  】 (前期比 $\Delta 18P$)

前期と比べ、売上額【 $\Delta 18P$ 】、収益【 $\Delta 31P$ 】が、それぞれ22P、21Pの大幅な低下となりました。

次期は、雇用人員はやや改善する見込みですが、他の項目は横這いの見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・ 昨年同期と比べると顧客の購買意欲の改善は感じられるものの、コロナ禍前の水準とは程遠い状況。また、半導体不足による新車納期も引き続き長く、中古車購入へ流れる顧客も多い。
- ・ コロナ禍によるまん延防止等重点措置の影響などにより来客数減少。相次ぐ制限の発令により厳しい状態が続く見通し。

(4) 不動産業 景況感 【 $\Delta 13P$ <やや悪い>  】 (前期比 $\Delta 27P$)

前期と比べ、売上額【 $\Delta 13P$ 】、雇用人員【 $\Delta 20P$ 】が、それぞれ13Pの減少となりました。

次期は、売上額が大幅に改善する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・ コロナ禍の影響もあり、店舗の撤退等で、賃貸物件に今もなお空きが出ている状態。
- ・ 出回っている物件自体は減っているが、物件の単価は上がっており、1件当たりの利幅は上がっている状況。しかしながら物件数の減少により仕入れの機会は減っているため、売上としては減少傾向。

(5) サービス業 景況感 【 $\Delta 17P$ <悪い>  】 (前期比 $\Delta 4P$)

前期と比べ、収益【 $\Delta 19P$ 】が、6Pのやや低下となりました。その他の項目は、横這いの状況です。

次期は、収益、資金繰りがやや悪化する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により時短営業が実施されている。夜の営業を止め昼営業のみのため売上げは減少している。今後の対策、蔓延状況により売上げも変動していくと感じる。
- ・ まん延防止等重点措置の影響もあり、客足は戻らず。コロナ禍前の20%程度の売上げで厳しい状況。当面は同様の状況が続くと考えており、引続きテイクアウト等に力を入れていく。

DI値 調査結果

前・・・前期 令和3年10月～12月の景況感（調査時点 令和3年12月1日）
 今・・・今期 令和4年1月～3月の景況感（調査時点 令和4年3月1日）
 次・・・次期 令和4年4月～6月の景況感（調査時点 令和4年3月1日）



業種別調査企業数(回業種別調査企業数(回答数))

(単位：社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	172	39	33	46	15	39
今期	167	37	34	45	15	36
次期	167	37	34	45	15	36

(単位：ポイント)

業種 項目	全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況	景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
良い(A)	26	20	17	31	19	11	18	21	12	28	20	24	27	7	33	23	25	11
変わらず	44	42	49	36	38	59	55	41	59	44	42	36	60	73	54	41	33	47
悪い(B)	30	38	34	33	43	30	27	38	29	28	38	40	13	20	13	36	42	42
DI値(A)-(B)	△4	△18	△17	△2	△24	△19	△9	△17	△17	0	△18	△16	14	△13	20	△13	△17	△31
今-前/次-今	△14	1		△22	5		△8	0		△18	2		△27	33		△4	△14	
売上額	製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
好転(A)	24	15	14	23	14	11	21	12	9	30	22	20	27	7	13	21	14	17
変わらず	45	48	53	49	45	51	43	50	67	44	38	42	46	73	80	41	50	41
悪化(B)	31	37	33	28	41	38	36	38	24	26	40	38	27	20	7	38	36	42
DI値(A)-(B)	△7	△22	△19	△5	△27	△27	△15	△26	△15	4	△18	△18	0	△13	6	△17	△22	△25
今-前/次-今	△15	3		△22	0		△11	11		△22	0		△13	19		△5	△3	
収益	売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
増加(A)	22	12	12	26	8	11	9	9	12	20	13	11	27	13	13	28	17	14
変わらず	44	48	53	43	43	51	55	50	59	50	43	49	46	74	74	31	47	44
減少(B)	34	40	35	31	49	38	36	41	29	30	44	40	27	13	13	41	36	42
DI値(A)-(B)	△12	△28	△23	△5	△41	△27	△27	△32	△17	△10	△31	△29	0	0	0	△13	△19	△28
今-前/次-今	△16	5		△36	14		△5	15		△21	2		0	0		△6	△9	
雇用人員	需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
多い(A)	1	2	5	5	0	3	0	0	3	0	0	2	0	7	7	0	6	11
適正	67	59	57	62	57	48	64	59	56	67	60	65	93	66	60	64	58	56
少ない(B)	32	39	38	33	43	49	36	41	41	33	40	33	7	27	33	36	36	33
DI値(A)-(B)	△31	△37	△33	△28	△43	△46	△36	△41	△38	△33	△40	△31	△7	△20	△26	△36	△30	△22
今-前/次-今	△6	4		△15	△3		△5	3		△7	9		△13	△6		6	8	
資金繰り	資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
余裕がある(A)	10	10	9	13	11	11	6	9	6	11	7	7	7	13	20	13	11	9
支障がない	67	64	68	69	59	67	73	65	79	61	69	69	86	67	60	59	64	60
苦しい(B)	23	26	23	18	30	22	21	26	15	28	24	24	7	20	20	28	25	31
DI値(A)-(B)	△13	△16	△14	△5	△19	△11	△15	△17	△9	△17	△17	△17	0	△7	0	△15	△14	△22
今-前/次-今	△3	2		△14	8		△2	8		0	0		△7	7		1	△8	

<参考> 昨年同期と現在の景況感比較(回答158社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「景況感」は良い(A)	31社	20%	24%
昨年と比べ「景況感」は変わらない、横ばい	70社	44%	46%
昨年と比べ「景況感」は悪い(B)	57社	36%	30%
DI値(A)-(B)		△16P	△6P

